●今日の声かけ いきいき未来●

# 愛育

NO.44
2020

発　　行／令和２年３月30日
編集発行／社会福祉法人
恩賜財団母子愛育会愛育推進部
〒106-8580
東京都港区南麻布5-6-8
TEL　03-3473-8315
FAX　03-3473-8454
URL　http://www.boshiaiikukai.jp/

## 第51回 愛育班員全国大会開催

平成31年４月４日（木）明治記念館において、総裁 秋篠宮妃殿下のご臨席のもと愛育班員等428人の参加を得て第51回愛育班員全国大会を開催いたしました。この大会は、愛育班員の日々のボランティア活動に感謝の意を表し、総裁表彰・会長表彰を行うとともに、愛育班員ならびに関係者の方々との交流を図り、愛育班活動の充実・発展を目的に行われています。

第１部式典では、古川貞二郎会長のあいさつ、総裁のおことばをいただき、その後、総裁表彰、会長表彰、模範愛育班指定が行われました。特別来賓の方々の祝辞のあと、平成30年西日本豪雨の際の支援活動が綴られた愛育班員手記優秀作の「埼玉県支部の心を一つにして『岡山県支部がんばって！』」の朗読発表がありました。

第２部は、総裁表彰、会長表彰受賞10名の方々の活動を紹介しました。

特別講演「〝人とのつながり〟をつくる愛育班活動により寝たきり予防実現へ」と題し、東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢教授の講演が行われました。講演から、地域の人々のために活動する日頃の愛育班活動自体が、フレイル（加齢により身体的機能や認知機能、社会とのつながりが低下した状態）予防対策になっており、健康づくりに効果的であると実感できました。

第３部「愛育のつどい」は、お弁当をいただきながら班員同志で想いを語り合い、今後の活動への励みとなりました。

第51回は、平成最後の大会であり、次の半世紀へ歩みはじめる大会でした。

愛育班員は、上皇陛下の御誕生を記念して設立された母子愛育会を誇りとし、今後も、総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下にお導きいただきながら、よき伝統をつなぎ、子育てしやすい地域、人々が助け合う地域づくりのため、今後も努力してまいります。

## 表彰を受けられた方々　～おめでとうございます～

**総裁表彰**

**島根県　知夫村愛育班**（団体）

**会長表彰（愛育班員）**

**上野千江子**（埼玉県さいたま市保健愛育会）
**島田　初子**（埼玉県久喜市菖蒲母子愛育会）
**山岸　和美**（埼玉県羽生市母子愛育会連合会）
**蘆田　朝子**（兵庫県丹波市愛育会芦田愛育班）
**平田　国子**（岡山県新見市愛育委員会）
**上里八重子**（香川県まんのう町母子愛育連絡協議会）

秋篠宮妃殿下から総裁表彰を受ける安藤和代班長

「愛育班員の手記」優秀作を発表する村田朝子氏

**会長表彰（育成者）**　※所属：平成30年度

**野坂　弘美**（福井県鯖江市健康づくり課）
**吉田久仁子**（兵庫県篠山市健康課）
**水嶋　明子**（岡山県備中保健所井笠支所）
**吉田まり子**（大分県竹田市高齢者福祉課）

**「愛育班員の手記」入選者**

**【優秀作】村田　朝子**（埼玉県ときがわ町愛育班）
**【佳　作】山中　明子**（兵庫県丹波市愛育会遠阪愛育班）
**松浦　陽子**（香川県東かがわ市母子愛育会）
**井上登志子**（大分県竹田市竹田地区愛育保健推進員会）

（敬称略）

# 愛育班の皆さまへ

母子愛育会総裁
秋篠宮紀子

新型コロナウイルス感染症が広がり、愛育班の皆さまには、ご心配も多々おありのことと案じております。普段通りの活動をおこなうことが難しく、今、置かれている状況の中、無理のない範囲で出来ることに取り組まれていると伺っております。誠にありがとうございます。

一日も早く、この状況が落ち着き、皆さまが地域の人々ともに、安心した生活が送れるよう、心から願っております。くれぐれもお身体をお大事にされますように。

# 香川を訪ねて

去る二月十四日、香川県母子愛育連合会の方々にお会いするため、丸亀市を訪ねました。中野実千代会長をはじめ、多くの方々にあたたかく迎えていただきました。

最初に、香川県における母子愛育活動の歩みや、連合会の現在の活動について、お話を伺いました。香川県では、昭和十四年に、三豊村（現在の三豊市）が愛育村の指定を受けました。その後、県内各地で愛育班が結成され、昭和四十七年には香川県母子愛育連合会が設立されました。連合会は、来年、五十年の節目を迎えます。瀬戸内海の島々も含む十二の市町に、現在、四万四千人の会員がいるこの会を活性化させ、今後も愛育の灯（ともしび）を絶やさぬようにしていきたいとのことでした。

続いて、香川県小豆島町、東かがわ市、琴平町、観音寺市、丸亀市の活動について、手作りの大きなパネルを見ながら説明を受けました。季節の行事をはじめ、子育て支援やお年寄りへの声かけ、健康づくりなど、それぞれの地域の特性を活かした多様な取り組みの様子を知る良い機会になりました。

愛育班の活動状況を伺う

そのあとに、香川県愛育連合会や丸亀市愛育会の役員、香川県・丸亀市の母子保健行政の関係者との懇談の時間を持ちました。

懇談の中で、親子と地域の人たちが楽しめて笑顔になれるように、地域の人たちと協力して頑張りたい、さらに地域の絆を深め、次世代に繋げていきたい、との思いを伝えてくださいました。また、少子化や班員の高齢化、後継者問題などの課題がある中、各班の実情に合わせて、できることを無理なくおこなうことを目指していることが語られました。現役の愛育班員に加えて、元班員も含む地域の子育て経験者の協力がある地域や、子育てをしている若い世代が中心となっている地域もありました。さらに、愛育班の役員と行政とが話し合いを大事に重ねてきたとのお話もありました。

この懇親会で、それぞれの地域、そして県全体で、子どもたちと子育てをする家庭を支援する環境づくりを積極的に進めていることが感じられました。愛育班員の経験を活かして地域に根ざした取り組みが続けられ、地域の絆が深まっていることを、大変心強く思いました。このような意義ある活動が、次の世代にも良い形で引き継がれていくことを願っております。

その後、親子体操を見せていただきました。丸亀市の骨付鳥の歌に合わせて踊る姿は、元気いっぱいでした。「地球がワハハ」の体操や、大きな動物、小さな動物を表現する遊びには、私も参加しました。子どもたちの動きに合わせて身体を動かし、お母様方や愛育班員の皆さまと、なごやかなひとときを過ごしました。

親子体操の会場にて

香川県知事、丸亀市長などからは、この地域の特色について、大変興味深いお話を伺いました。限られた時間でしたが、香川県、丸亀市の魅力の一端を知ることができました。

今回は、令和の御代を迎えて初めての地方支部の訪問でした。愛育班活動に取り組まれている様子にふれるたびに、皆さまの地域に寄せる強い思いを感じます。

それぞれの地域にとって大事な役割を担う愛育班活動に、また参加できる日を楽しみにしております。

# 健やか親子21全国大会が千葉県千葉市で開催されました

令和元年度健やか親子21全国大会は、「みんなが主役～地域みんなで支える子育て～」をテーマに、千葉県千葉市で11月7日・8日に開催されました。

本会主催の母子関係者研究集会は7日に行われ、本会愛育相談所の齊藤万比古所長が「発達障害～子どもが抱えている困難とは～」をテーマに講演を行いました。講演では、発達障害とは何かを確認し、自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠陥・多動症（ADHD）、限局性学習症（SLD）の子どもの抱えやすい困難について学びました。発達障害を持つ子どもとの関わりや発達障害の特徴を心得た支援の工夫を分かりやすくお話いただきました。全国から88名が参加し、学んだことを明日から活かしていきたいと声が寄せられ、盛況のうちに終了しました。

式典では、母子愛育会会長表彰を46人、3団体が、厚生労働大臣表彰を愛育班員等73人、3団体がそれぞれ受賞されました。お祝いを申し上げます。

式典における本会古川貞二郎会長の挨拶では、まず台風第15号、第19号と10月豪雨の被害にあわれた地域の方々へのお見舞の言葉がありました。次に、「総裁秋篠宮皇嗣妃殿下のもと、母と子の幸せとすこやかな子どもの成育のため、愛育班員全国大会を開催するとともに～中略～地域住民である愛育班員による、地域住民のための活動を行い、住民同士が助け合い『地域みんなで支える子育て』ができる地域にするために努力してまいります。」という言葉がありました。まさに、愛育班員の日頃の活動は、今大会テーマ「みんなが主役～地域みんなで支える子育て～」に沿った活動と言えます。

その他、集会やシンポジウムが開催され、保健・医療・福祉・地域で様々な活動に取り組む関係者が集いました。

2020年の健やか親子21全国大会は、11月5日・6日に大阪府大阪市にて開催されます。

## 母子愛育会会長表彰（敬称略）

**愛育班員**

| | |
|---|---|
| 目黒アツ子 | 埼玉県 |
| 髙橋　良江 | 埼玉県 |
| 柴田　宣子 | 福井県 |
| 加藤　春美 | 山梨県 |
| 甲斐　諄子 | 兵庫県 |
| 大江　操代 | 兵庫県 |
| 池上　展子 | 岡山県 |
| 大倉　節子 | 香川県 |

**育成者（保健師）**

| | |
|---|---|
| 分部　照美 | 山梨県 |
| 小尾　恵子 | 山梨県 |
| 吉田　朝美 | 兵庫県 |
| 宮﨑　裕子 | 岡山県 |
| 安藤三津子 | 香川県 |
| 甲斐　優子 | 大分県 |

**団体**

| | |
|---|---|
| 市川三郷町愛育連合会（会長：青沼　親子） | 山梨県 |
| 北杜市母子愛育会（会長：三井　勇） | 山梨県 |
| 倉敷市連島南学区愛育委員会（会長：吉峯　清美） | 岡山県 |

## 厚生労働大臣表彰（敬称略）

**愛育班員**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 金子マサ子 | 埼玉県 | 佐藤千津子 | 岡山県 |
| 多田みち子 | 香川県 | 雨宮登美子 | 山梨県 |
| 中野実千代 | 香川県 | | |

嬬恋村愛育会　群馬県
（会長：山﨑千鶴子）

**育成者（保健師）**

大場　エミ（元母子愛育会愛育推進部長）

## 恩賜財団母子愛育会の活動展示

令和元年度　**健やか親子21全国大会**　（母子保健家族計画全国大会）
**みんなが主役！～地域みんなで支える子育て～**

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長表彰　　令和元年 11 月7日　於：千葉市民会館

## 第58回 愛育班長研修会　開催報告

令和元年７月４・５・６日の３日間、参加者７名（埼玉県ときがわ町・所沢市・ふじみ野市・越谷市、山梨県甲府市、香川県丸亀市、大分県杵築市）で開催しました。

１日目は、参加者から「わが町の愛育班活動」の紹介や情報交換を行いました。また、昭和44年の第１回愛育班員全国大会の総裁表彰受賞者『矢崎きみよ』氏を取り上げた番組「日本を動かした白根の偉人伝」で愛育班活動の歴史を学びました。２日目は、埼玉県入間市健康福祉センターでの実地研修です。入間市母子愛育会が受託している中学生対象の青少年育成事業「育児体験学習・命の大切さ」の班員沐浴体験実技研修会に参加しました。実習の帰りは、ヱビスビール記念館見学も楽しみました。３日目は、本会愛育病院山口規容子名誉院長の講義「最近の育児をとりまく環境と育児支援の取組み」で愛着の重要性を確認後、愛育推進部長を交え、今後の愛育班活動を話し合いました。

日本各地の愛育班員と交流しながら、愛育班活動のアイデアや工夫、また悩みや課題も共有できました。和気あいあいと楽しくにぎやかに学び、研修参加の皆さんは、心身ともに若々しく“はつらつ”となって終了しました。

班長等にかかわらず愛育班員であれば、どなたでも参加できます。2020年はオリンピック・パラリンピックのため研修はお休みしますが、ぜひご参加お待ちします。

沐浴・妊婦体験ジャケットの実技研修会に参加

埼玉県庁・埼玉県支部・入間市母子愛育会の方々と記念撮影

**＜実施研修感想　（入間市母子愛育会・入間市健康福祉センター）＞**

- 愛育会の方々が、意欲を持って明るく楽しく行動しておられ勇気100倍です。
- 市長さん、市役所（保健師さん含め）、愛育班が一緒になって行う素晴らしい組織活動です。さすが、模範愛育班と感動です。
- 市内全域に支部があり、各々独自に活動していることに感心しました。本日、大勢の班員の方が参加していることも驚きました。
- 感動しました。元気な子が育つまち、本当の幸せは小さい時からです。育児体験で命の大切さを学ぶ、本当に大切ですね。
- 市長さんが積極的に協力している姿を見て、本当に“良いまち”と思うと共に、私の町でも出来たらよいと思いました。

## 第58回 愛育班等組織育成者研修会　開催報告

令和元年８月28･29･30日の３日間、参加者８名（埼玉県白岡市・入間市・所沢市・三郷市、山梨県甲府市・昭和町、大分県北部保健所・豊後高田市）で実施。

１日目は、参加者の自治体の愛育班活動の紹介や課題を出し合うことで、現状を共有しました。２日目は、山梨県愛育班活動の実施研修です。山梨県愛育連合会の皆様の熱意と愛にあふれた活動を学びました。また山梨県庁（子育て支援課や中北保健所）の講義では、愛育への深い理解や支援に感動です。山梨県子育て支援課長様をはじめ皆様から、研修生へのきめ細かいご配慮もいただきました。南アルプス市源愛育会館見学では、長い間、貴重な資料を守ってきた源地区愛育会の皆様の努力に、敬意と感謝の気持ちで一杯になりました。今日まで、愛育会館が維持されている現実を目にし、南アルプス市のご理解と支えが本当に大事だと思い、愛育会と行政のすばらしい連携を実感しました。３日目は、講義や地区診断演習GWと盛り沢山の内容を楽しく学びました。

研修生は、新人から中堅まで、それぞれ保健師として活き活きとパワーアップし、成長したと思います。

経験年数は問いません。保健師同士の学びも大きいです。楽しく学ぶ研修会に、ぜひご参加ください。

山梨県・愛育会の方々と源愛育会館「矢崎きみよ」氏 銅像前にて

**＜実施研修感想（山梨県庁・山梨県愛育連合会および南アルプス市・源愛育会館見学など）＞**

- 愛育を認め支える山梨県庁の歴史、学んだ「愛育班への支援の意義」を職場で伝えながら、市民が幸せになる愛育活動をすすめていきたいとやる気アップです。
- 愛育のみなさんのパワー、元気、楽しんでいる姿はステキで、保健師としても目指したいものが一杯です。負けてられない、私も頑張ろう！と思いました。
- 山梨では、県愛連や県が地域の班員や保健師をしっかりサポートしていると思いました。理事や役員の方々が愛育班の精神をしっかりと理解し、その理念のもとに活動していることを学びました。
- 南アルプス市愛育会の方々は、交代時の引き継ぎをきちんと行い伝統を守っていました。若い会員の方からは、やりやすい工夫も学ぶことができました。

# 令和元年度　愛育班員・育成者ブロック研修会を全国2ブロックで開催

## 福井県・兵庫県ブロック研修会
## 福井県鯖江市で開催　参加者数：156名

「福井県・兵庫県ブロック研修会」を7月21日（日）に鯖江市健康福祉センターで開催。鯖江市愛育会水嶋栄子会長に歓迎の言葉を鯖江市清水善美健康づくり課長よりご挨拶をいただきました。愛育班活動紹介や「地域ぐるみの楽しい子育て・寝たきり予防・認知症予防は楽しい愛育班活動から」の講義、交流会も行いました。兵庫県支部より、臼井支部長、豊岡市愛育会、豊岡市保健師、丹波市愛育会、香美町愛育会、作用町愛育班の方々が参加しました。

### 福井県 鯖江市愛育会の活動

鯖江市は、人口約7万人、年間出生数約600人、高齢化率は26.7%で、メガネフレーム国内シェア約96%の産地です。鯖江市愛育会は、S.37年地区母子愛育会として誕生後、小学校区毎に12地区の愛育会を組織化。現在の班員は、433名。

役員会、理事会や各地区愛育会会議では、声かけ活動で得た情報の話し合いや活動報告を行い、声かけを中心に、結核予防・複十字シール運動、公民館まつり・文化祭協力など地域に根差した活動を行っています。

H.27年愛育会発案の「し・あ・わ・せ体操」は、「さばえ食と健康・福祉フェア」や高齢者サロンへ出向いて普及に努めています。聞きなれた音楽に合せた体操は、簡単で取り組みやすいと好評です。愛育会活動の普及啓発のため「愛育会ってなあに？」の声かけや結核予防の寸劇を方言も入れて、広く市民の皆さんへ発表しています。愛育会員が、いろいろなアイデアを和気あいあい楽しみながら出し合う事が、長く続いている理由かもしれません。

鯖江市は、持続可能な地域モデルとして国連提唱のSDGsの理念に基づく目標の一つとして「女性が輝くまちづくり」を掲げています。関係団体が集まる場が多く設定され、多くの方と出会いやすく、活動がしやすいです。

「鯖江市愛育会市長と語り合う会」で、牧野市長さんに活動を報告、意見交換を行い、市長から市の発展に女性活躍は欠かせないとエールをいただきました。

少子高齢化、核家族が進む中、今後も基本である「声かけ・見守り活動」に取り組み、「愛育会ができること」を行い、地域の方々の健康・人と人とのつながりを大切にしながら、楽しみながら、愛育会活動の歩みを継続していきます。

### 兵庫県 豊岡市竹野愛育班の活動

豊岡市は、兵庫県北部の幸せを運ぶ『こうのとり』が悠然と舞う地で、竹野町は市最北端に位置します。S.57年結成の竹野愛育班は、班員数76名で、959世帯、人口2,530人の地区。班員のアイデアから手作りのクツ下人形が誕生し、活動に楽しいハレの場が広がり仲間が増えました。一方、「これが愛育班活動なの」等意見も受けとめ、一つ一つみんなで乗りこえ、活動の原点となっています。

今、大きな励みは、地域の皆さんから「いつもありがとう。ご苦労様。楽しそうでいいね～」と喜んで声をかけていただくこと、班員が減少しないことです。

主な活動内容は、①声かけ訪問②分班長会議③愛育班だより発行④子育てセンターとの交流会（「多くの方に子育てを応援していただき安心です」との声）⑤三世代交流事業（ジャンボ巻き寿司大会・おはぎ作り）⑥お手玉つくり教室（小学男子児童の参加で盛あがりこども園へ贈呈）⑦老人施設の慰問・交流⑧社協の「いきいきクラブ」ボランティア活動（「一年を通して最も心に残った言葉は『愛育班』」とのお話に感動）⑨班員研修会⑩地域行事の協力・参加（盆踊大会は「地域見守り隊」で参加、ウォータースイミング大会は昼食作り）などです。

中貝市長さんと「ふれあいトーク」の際に、「愛育班は地域の財産ですね」との言葉をいただき、このテーマで楽しい研修をしました。班員みんなで分かち合う笑顔と元気は、地域へ広がり地域を元気にし、活動の原動力・地域全体の心と体の健康づくりにつながると考え、楽しく活動しています。

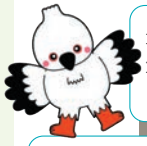
めがねのまちさばえ

鯖江市愛育会と兵庫県愛育連合会の方々が交流

大好評の寸劇「健診のすすめ・結核予防」をご披露

活動用品をみんなで楽しく手づくり

鯖江市愛育会がボランティア功労を受賞


豊岡市の鳥・コウノトリから生れたキャラクター「コーちゃん」

竹野愛育班保正班長が活動紹介

子育てセンターとの交流恒例のジャンボ巻き寿司

一年間で最も心に残る言葉♥愛育班♥

# 福島県・群馬県・山梨県ブロック研修会
# 福島県南相馬市で開催　参加者数：43名

令和元年９月２日に、南相馬市原町保健センターにて開催。

南相馬市母子愛育班高田班長の歓迎の言葉、南相馬市健康づくり課戸浪係長にご挨拶いただき、本部愛育推進部長講義や愛育班員の交流も行いました。

参加は、南相馬市母子愛育会員・保健師他32名、山梨県11名（韮崎市愛育会１名・市保健師２名、山梨県愛育連合会会長他役員８名）の計43名。

ブロック研修会で爆笑 ！
南相馬市母子愛育会と山梨県愛育連合会のラーメン体操

みんな大好き
韮崎市イメージ
キャラクター
「ニーラ」

## 山梨県韮崎市愛育会の活動紹介

韮崎市は人口29,568人、出生数169人、高齢化率29.7%。S.34年韮崎市婦人会愛育部発足後、H.7年韮崎市愛育会が設立。現在、183人の班員。任期は２年や１年交代ですが、地域に根付いた組織になるよう精一杯活動しています。

声かけ活動、話し合いはもちろんのこと、①親子・三世代ふれあい教室（お誘いチラシを作成し班員が一軒ずつ配布。手づくりおやつを提供、参加者は「越してきて他の子とあう機会がないのでありがたい」と感謝）②赤ちゃん・高齢者プレゼント訪問（手づくりメッセージカードを添えたプレゼント、85歳以上宅を訪問し笑顔に元気をいただきながら災害時避難支援にも有意義な活動）③愛育だよりの発行④総合健診託児（子育て中のお母さんが安心して健診を受けられる）⑤地域とタイアップした活動（穴山町愛育班は町の「Xmasイルミネーション点灯式」前に愛育班主催のふれあい交流会を行う。竹の楽器づくり・オーナメントの飾りつけ・おやつを食べながら民話を聞くなど三世代交流の場に）⑥にらちびフェスティバル参加（子育て支援機関や団体が様々なブース設定、楽しくひとときを過ごす。愛育会は丸いうちわにいろいろな色で手形や足形をスタンプ、祖父母も参加し子どもはみんなの宝物の思い）等、各町の特色を活かし地域にあった活動は、地道な努力の成果が出て大変喜ばれ期待されています。

今後も愛育会活動を通じて地域の絆を大切に守り、“愛育のこころ”が次世代へ受け継がれるよう、全員で頑張っていきます。

親子ふれあい教室
手づくり料理
手形スタンプ

安心して健診が
受けられました

にらちびフェスティバル

## 福島県南相馬市母子愛育会 活動紹介

R1.7月現在、住民登録60,032人、市内居住53,766人。（H.23.3月71,561人）

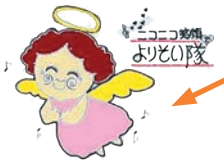
出生はH.21年603人がH.30年319人となり、環境変化は、家族構成（家族がバラバラに避難・祖父母と別居、核家族増加）や住居（住んでいた家に住めず、仮設等⇒災害公営住宅、集団移転、転出入等）、生活（放射線の不安、食物や水等）があります。

H25年、地域に戻った（転入してきた）親子を支援しよう！と、「南相馬市母子愛育会員養成講座」受講者で構成し母子愛育会設立。現在の会員は、32名。通称「ニコニコ笑顔でよりそい隊」といい、イメージキャラクター“ばーばエンジェル”です。大分県豊後高田市愛育会「つむぎの会」作成のエプロン・バック着用、「親と子に寄り添う人」「親子を中心として高齢者まで寄り添う人」をめざし、地域に身近な存在“近所のお姉さんやおばちゃん”として活動しています。

自主活動は、①ぽにたん広場（おしゃべりタイム、親子ふれあい遊び、親子体操、絵本読み聞かせ、いやしのお茶）②わんぱくキッズ見守り（夏休み公園内見回り、ごみ拾い、池遊び）③親子いもほり大会（会員宅の畑で）④幼稚園茶道教室（ラーメン体操、お抹茶）です。他に、母子保健事業協力（健診託児のなかよし広場）、HMY交流会（Hヘルスメイト／食生活改善推進員・Mもりあげ隊／健康運動普及サポーター・Yよりそい隊／母子愛育会が合同で「健康お楽しみ会」開催）等です。

みんながニコニコ笑って楽しく元気になれる健康づくり活動をめざし、「できることを無理しないで楽しんで」「会員同士協力し支え合いながら」「活動をPR」しています。子ども達のきらきら輝く瞳と大切な仲間との出会いに、元気をもらっています。

南相馬市
ふるさと回帰支援センター
マスコットキャラクター
「のまたん」




ばーば エンジェル

豊後高田市愛育会より
プレゼントのエプロンと
バックで活動しています

大盛況のいもほり大会
（念のため放射線量測定済
→心配不要、安全でした）

ママが健診終わるまで
遊んでいようね

一緒にお抹茶を
立ててみようね

## 群馬県嬬恋村愛育会の活動紹介（※誌上発表してくださいました）

県北西部に位置し、夏秋キャベツの生産量は日本一。村名の由来から“愛妻家の聖地”として注目される村。人口9,869人、出生数61人、高齢化率34.1％。愛育会はS.49年発足、全世帯が会員となっている。

役員任期は本部2年、支部1年交代。本部の活動は、①定例役員会②支部と協力し市乳児相談時7か月児足形とり③研修実施・参加④愛育会だより発行⑤支部活動への協力。支部の活動は、①調理実習②健康運動教室③7か月児足形とり④月1回各支部当番制の親子ふれあい教室⑤がん検診の申込み取りまとめ。その他、各支部により赤ちゃん訪問・敬老訪問・老人ホーム慰問・地区行事のお手伝い・各種健康教室などを行っています。

『みんなの健康づくり応援隊』をキャッチフレーズに村民みんな参加型の愛育会として村全体が愛育会を通してつながり、楽しく活動しています。

嬬恋キャベツは日本一！！

嬬恋村キャベツのキャラクター「嬬キャベちゃん」

7か月児足形とり（色紙にして絵本と共にプレゼント）

親子ふれあい教室（絵本の読み聞かせ）

## 全国の愛育班の輪（わ）～愛育班立上げ・災害支援～

### 愛育班立上げ応援

**南相馬市母子愛育会**
平成25年、福島県南相馬市に母子愛育会が発足

**令和元年度 岡山県全市町愛育会より埼玉県支部および南相馬市母子愛育会へ義援金**

エプロンとバックをありがたく使わせていただきながら笑顔で寄り添っています

**平成25年度 真玉愛育会より**
会員手づくりのエプロンと手さげバックをプレゼント

茶道教室を実施子ども達は笑顔ママはほっと一息。全国の愛育のつながりが心強いです

設立の相談、設立総会や講演会開催の支援

**本部（愛育推進部）**
総裁とご一緒に復興を祈りながら被災地の皆様への支援品作業（平成30年）

**大分県の豊後高田市真玉愛育会**
手縫いサークル「つむぎの会」

### 災害支援

**母子愛育会岡山県支部（岡山県愛育連合会）**
平成30年西日本豪雨により岡山県全域や愛媛県などの愛育班のある地域に甚大な浸水被害発生

倉敷市や総社市の避難所に支援品をお届け

**平成30年度 埼玉県内31市町愛育班より岡山県支部へ義援金**

浸水被害のあった倉敷市・総社市・笠岡市・矢掛町の小学校図書館に愛育文庫設置し児童リクエストの本を贈呈

埼玉の愛育のみなさん「愛育文庫」ありがとう！みんな大喜びです

令和元年度 愛育班設置31市町保健センターに埼玉県ときがわ町産の木を使った母子愛育会の名入りの積み木を贈呈

各市町の親子が喜んで遊んでいます！岡山県の愛育の心に感謝です

**母子愛育会埼玉県支部**
令和元年東日本台風（台風19号）により県内市町の地域に甚大な浸水被害発生

# インフォメーション

## ～令和2年4月6日開催予定の第52回愛育班員全国大会を中止します～

皆様には既にお知らせしたところですが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大防止の観点から、4月6日開催予定の第52回愛育班員全国大会を中止いたしました。開催を楽しみにされていた皆様には、誠に申し訳ございません。

今後、開催する場合は、改めてご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。

## ～令和2(2020) 年度愛育班長・愛育班等組織育成者研修会を中止します～

この2つの研修会は、参加の皆さんから「学びに年齢はなく若返った」「保健師として成長できたのでは」等、好評を得ております。令和2年度は、開催時期が東京五輪・パラリンピックと重なるため中止と予定していました。五輪は延期となりましたが、研修会は中止いたします。

また令和3（2021）年度からは、この2つの研修会を隔年で交互に開催するように、変更を予定しています。開催の際は、ご案内いたしますので、多くの方のご参加を待っております。

# 愛育班活動にお役立てください

## 愛育班員手帳2020

ご好評いただいている愛育班員手帳の2020年版を作成しました。引き続きご愛用ください。

<内容>

○「愛育班員の証」、「愛育班活動の基本」、「ダイアリーとメモ」等で構成されています

○定価550円
（税・送料込）

## 愛育班活動紹介DVD『今日も声かけつながり合う地域』

愛育班員全国大会で上映し、大変反響のあったDVDです。

愛育班活動の歴史、基本的な活動、愛育班全国大会や各種研修会の様子も盛り込んだ内容となっております。

○定価1,000円（税込）

○約26分

○送料1枚140円

## 愛育班員バッチの販売

○定価 500 円
（税・送料込）

## お申込・お問い合わせ先

社会福祉法人恩賜財団　母子愛育会愛育推進部
TEL　03-3473-8335　FAX 03-3473-8454

## 愛育推進部メッセージ

新型コロナウィルスの感染拡大防止が叫ばれる中、全国の愛育班では、多数の人々が集まる愛育班活動は中止となっていると聞きました。このような状況の中、ときがわ町愛育班は昨年購入済のミシンで作った「マスク」を学童保育の子ども達と指導員の方々に贈呈、豊後高田市真玉愛育会は保育園・幼稚園児に手づくり「マスク」をプレゼントなど、各地で張りきって活動している愛育班の状況も聞きました。保健師の皆様は、公衆衛生看護の専門職として地域の感染症対策をも担って、日夜、業務に励んでおられる日々と思います。全国大会でまたお会いできる日まで、それぞれにがんばりましょう。

最後になりましたが、本会総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下よりこのような困難な状況を鑑み、愛育班員の皆様や保健師の皆様へご心配やご配慮をいただいておりますことをお伝えいたします。

（山田・南條）

### 総裁からいただいたお花

お庭に咲いたチューリップやムスカリのお花が活けられたお花籠が届きました。現在、感染予防に尽力している母子愛育会職員と、日頃から地域で愛育班活動に取り組んでいる愛育班員へのお気持ちが込められていると伺っております。総裁のお気持ちをお伝えいたしたく，お写真をお届けいたします。